

施設別データ

施設番号	3301
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	総合体育館		
-----	-------	--	--

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局	スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------	-------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	小島町大郷1番地1 (東部中学校地区)	敷地面積	39,699.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館				
複合・併設施設	-		建築年月	H5.7	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	11,308.06 m ²	総取得費	4,430,100 千円
階数	3階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	計算対象外	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

5 避難所指定

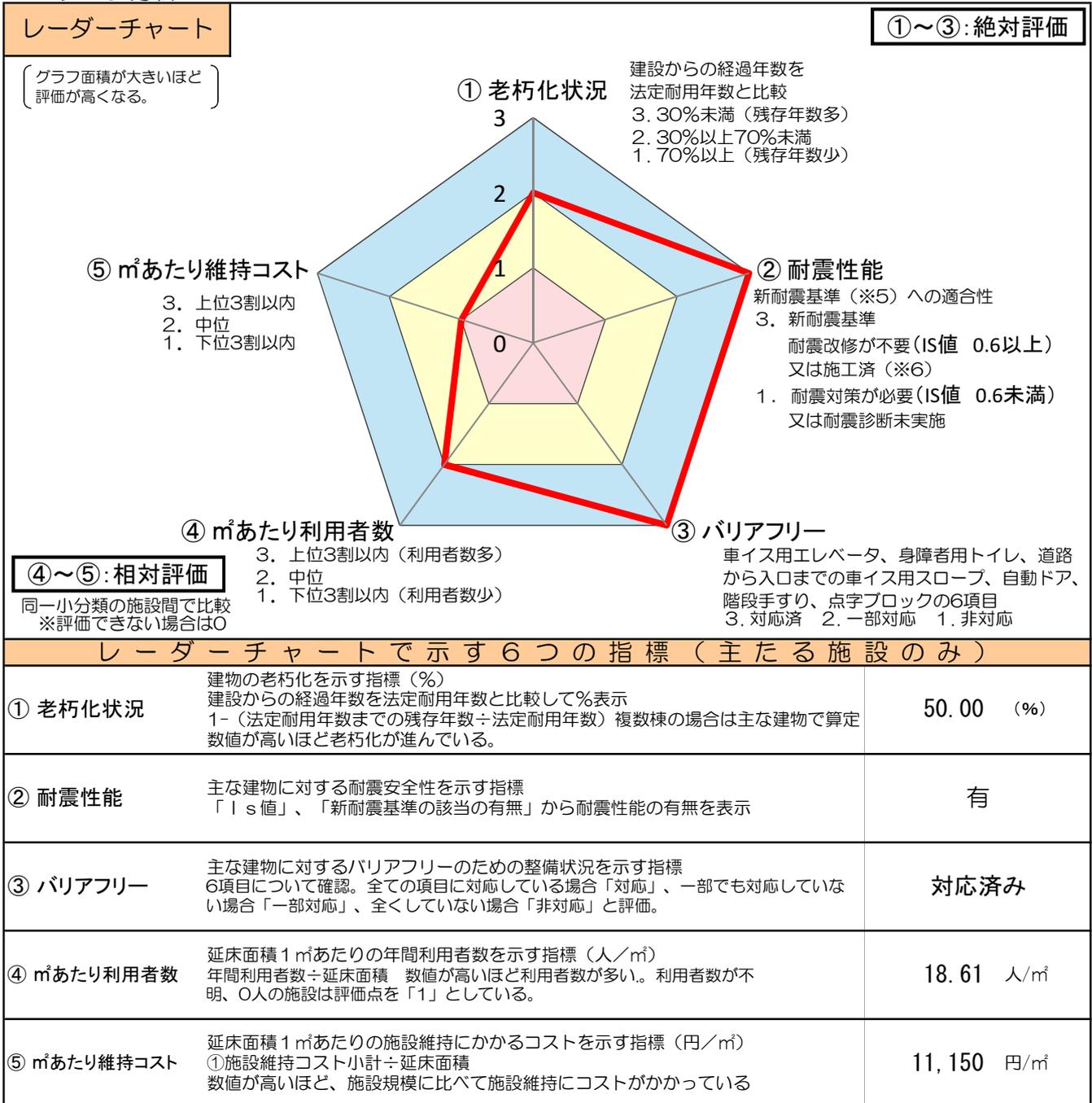
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	△	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	254,151 人	166,911 人	210,460 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	19,395,000
修繕料				5,736,707	
火災保険料	748,625				
維持管理委託料	23,442,912				
敷地借上料	-				
工事請負費	74,444,400				
その他維持費	607,460				
小計	126,083,019				
② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	6,465,000			
	燃料費	25,982			
	光熱水費	19,454,493			
	指定管理料	-			
	その他委託料	16,820,568			
	その他運営費	17,796,948			
	小計	60,562,991			
	合計 (①+②)	186,646,010			
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	887 円/人	1,082 円/人	16,506 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3302
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	鶴城体育館
-----	-------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局	スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------	-------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	鶴城町上道天24番地1 (鶴城中学校地区)	敷地面積	3,813.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館				
複合・併設施設	-		建築年月	H4.2	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3,676.74 m ²	総取得費	764,981 千円
階数	3階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B
------	--------	---------	--------	-------	---

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	計算対象外	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

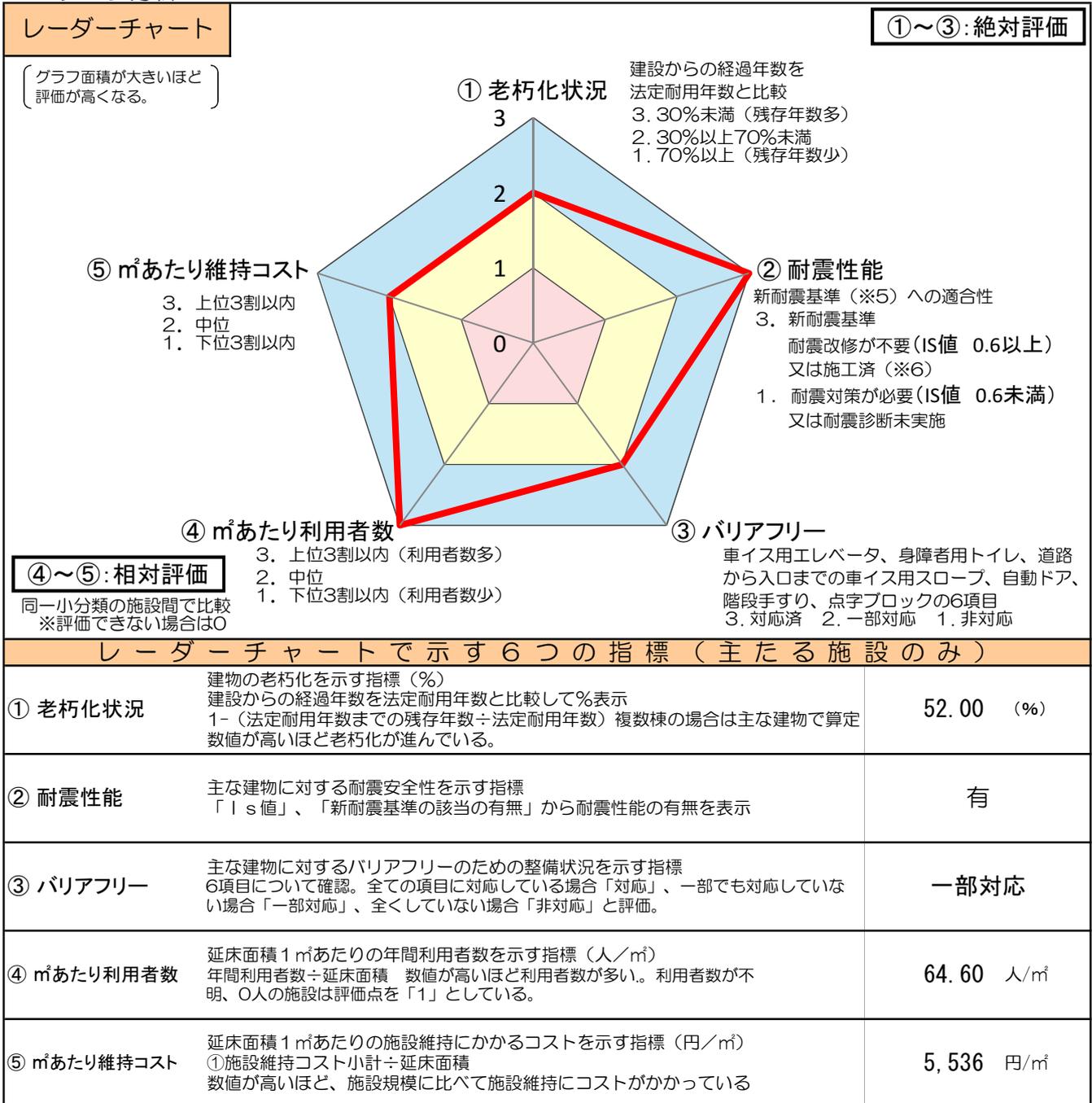
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	○	○	○

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	174,259 人	144,763 人	237,502 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	12,930,000
					修繕料	474,157
					火災保険料	128,316
	維持管理委託料	4,924,993				
				敷地借上料	-	
				工事請負費	648,000	
				その他維持費	109,184	
				小計	20,353,260	
			②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-	
				燃料費	1,969	
				光熱水費	1,160,511	
				指定管理料	-	
				その他委託料	-	
				その他運営費	572,759	
				小計	1,735,239	
				合計 (①+②)	22,088,499	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり			
	93 円/人	128 円/人	6,008 円/m ²			

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1mあたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3303
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	中央体育館
-----	-------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	丁田町前通120番地 (西尾中学校地区)	敷地面積	6,881.00 m ²
		うち借上面積	835.00 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館				
複合・併設施設	-		建築年月	H21.2	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,286.38 m ²	総取得費	895,650 千円
階数	3階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

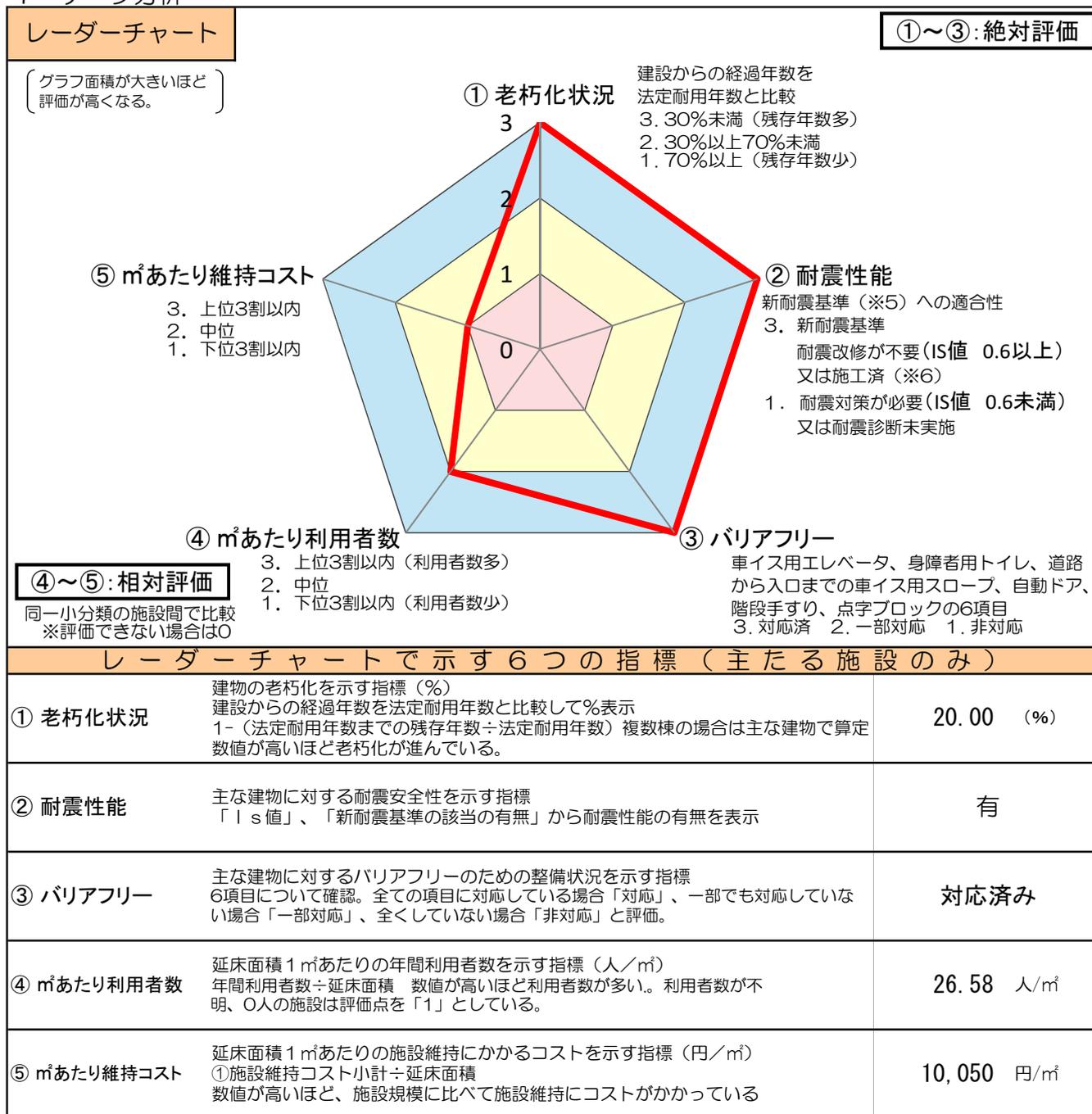
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	○	○	○

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	129,224 人	147,349 人	140,537 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)
修繕料				910,620	
火災保険料	228,929				
維持管理委託料	13,753,085				
敷地借上料	-				
工事請負費	16,998,120				
その他維持費	135,557				
小計	53,129,226				
②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-			
燃料費	29,615				
光熱水費	10,246,709				
指定管理料	-				
その他委託料	12,584,592				
その他運営費	4,624,819				
小計	27,485,735				
合計 (①+②)				80,614,961	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1㎡あたり		
	574 円/人	468 円/人	15,250 円/㎡		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3304
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	一色町体育館
-----	--------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町坂田新田冲向95番地 (一色中学校地区)	敷地面積	4,620.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館				
複合・併設施設	-	建築年月	S54.10		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3,899.00 m ²	総取得費	400,000 千円
階数	3階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	C	構造体劣化調査	A	健全度判定	C
------	---	---------	---	-------	---

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

5 避難所指定

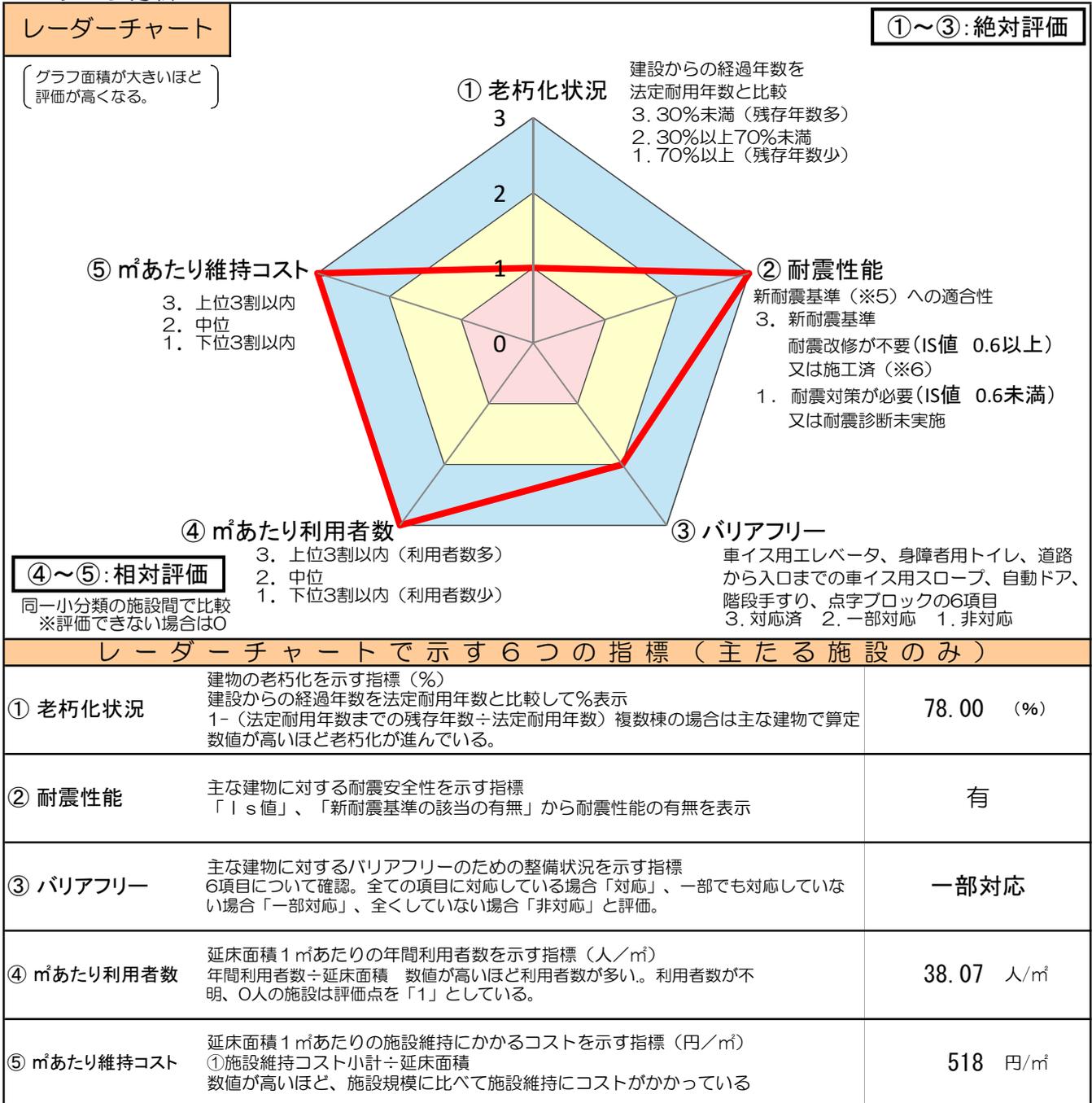
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	132,582 人	147,570 人	148,443 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す する経費 + ②施設運営コスト 施設を運営する ために要する経 費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	211,592	
				火災保険料	198,351	
				維持管理委託料	1,574,883	
				敷地借上料	-	
				工事請負費	-	
				その他維持費	33,861	
				小計	2,018,687	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				-		
光熱水費	1,874,142					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	144,668					
小計	2,018,810					
合計 (①+②)	4,037,497					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり			
	27 円/人	23 円/人	1,036 円/m ²			

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1mあたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3305
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	一色B&G海洋センター
-----	-------------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町坂田新田冲向100番地8 (一色中学校地区)	敷地面積	11,584.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館、プール				
複合・併設施設	-			建築年月	S59.3
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,798.08 m ²	総取得費	- 千円
階数	2階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B
------	--------	---------	--------	-------	---

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

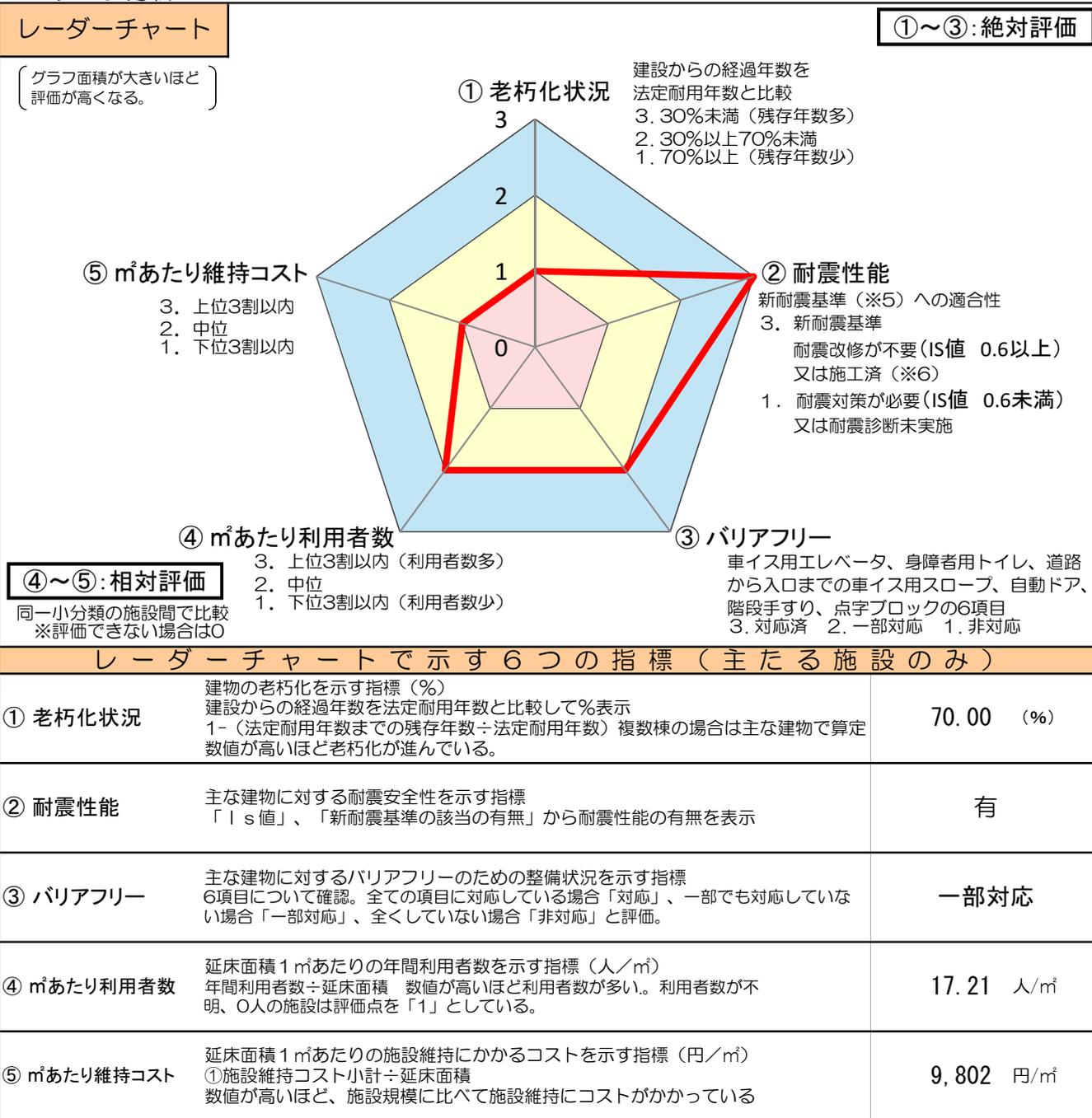
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	66,781 人	64,328 人	48,147 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す する経費 + ②施設運営コスト 施設を運営する ために要する経 費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	751,340	
				火災保険料	135,244	
				維持管理委託料	26,152,113	
				敷地借上料	-	
				工事請負費	235,440	
				その他維持費	151,268	
				小計	27,425,405	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				1,131,063		
光熱水費	3,018,608					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	518,932					
小計	4,668,603					
合計 (①+②)	32,094,008					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	667 円/人	市民1人あたり	186 円/人	延床面積1m ² あたり	11,470 円/m ²

7 データ分析



④～⑤:相対評価

同一小分類の施設間で比較 ※評価できない場合は0

- ※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。
- ※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」
- ※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用
- ※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 \div 利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費 \div 延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費 \div 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)
- ※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。
- ※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3306
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	コミュニティ公園
-----	----------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	吉良町上横須賀杉ノ木30番地 (吉良中学校地区)	敷地面積	26,167.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館、管理棟、体育館控室				
複合・併設施設	とことこ広場 (4146)	建築年月	S50		
建物構造	鉄骨造	延床面積	2,187.42 m ²	総取得費	29,190 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	C	構造体劣化調査	B	健全度判定	C
------	---	---------	---	-------	---

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

5 避難所指定

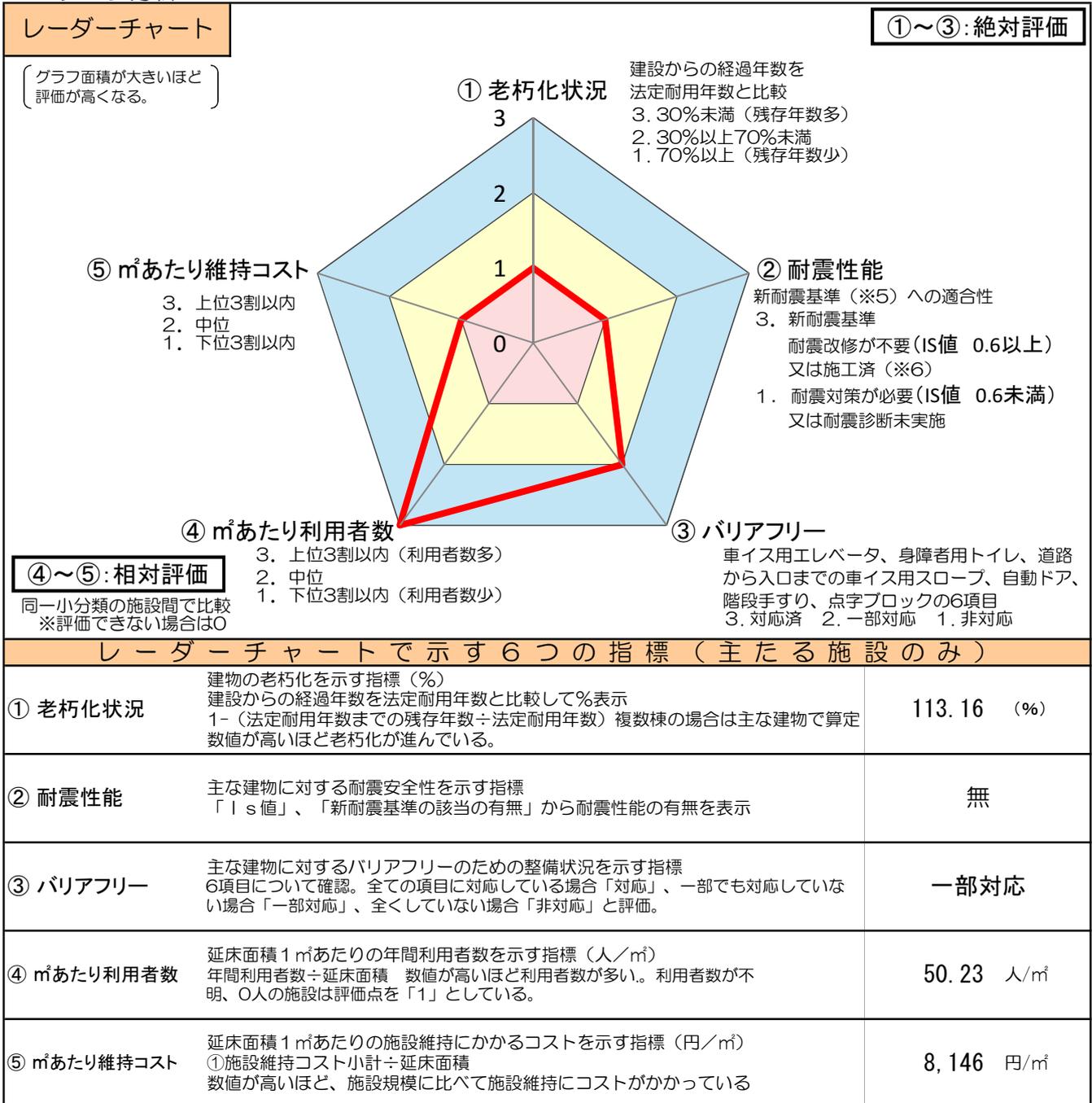
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	54,407 人	119,386 人	109,876 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す 経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	12,930,000
		修繕料		537,623	
		火災保険料		86,867	
		維持管理委託料		3,126,599	
		敷地借上料		-	
		工事請負費		-	
		その他維持費		-	
		小計		17,819,699	
		② 施設運営コスト		-	
		人件費 (賃金含)		-	
		燃料費	-		
		光熱水費	2,127,483		
		指定管理料	-		
		その他委託料	-		
		その他運営費	625,283		
		小計	2,752,766		
		合計 (①+②)	20,572,465		
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	187 円/人	119 円/人	9,405 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3307
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	吉良野外趣味活動施設		
-----	------------	--	--

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局	スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------	-------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	吉良町吉田大切間19番地1 (吉良中学校地区)	敷地面積	4,741.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館、管理室		
複合・併設施設	-	建築年月	S49
建物構造	鉄骨造	延床面積	695.55 m ²
階数	1階	うち借上面積	- m ²

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	B (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
2.0m~3.0m未満	1時間30分以内	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

5 避難所指定

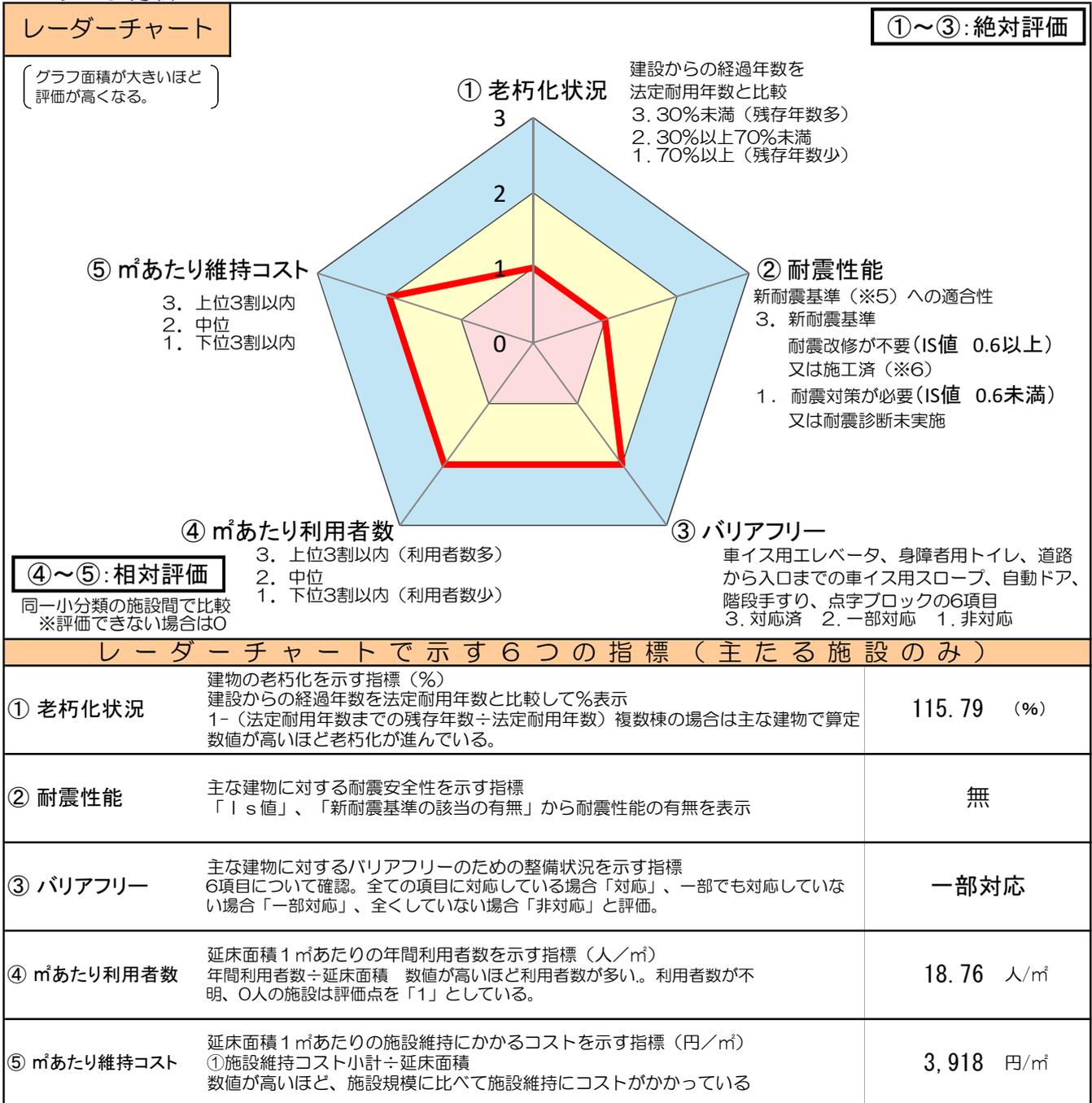
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	15,032 人	13,370 人	13,046 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
		修繕料		109,944	
		火災保険料		25,278	
		維持管理委託料		2,589,918	
		敷地借上料		-	
		工事請負費		-	
		その他維持費		-	
		小計		2,725,140	
		② 施設運営コスト			
		人件費 (賃金含)		-	
		燃料費	-		
		光熱水費	684,787		
		指定管理料	-		
		その他委託料	-		
		その他運営費	74,140		
		小計	758,927		
		合計 (①+②)	3,484,067		
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	267 円/人	20 円/人	5,009 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3308
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	東幡豆体育館
-----	--------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局	スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------	-------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	東幡豆町中尾3番地1 (幡豆中学校地区)	敷地面積	2,208.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	体育館				
複合・併設施設	-			建築年月	S56.3
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,289.07 m ²	総取得費	260,368 千円
階数	2階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B
------	--------	---------	--------	-------	---

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	計算対象外	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

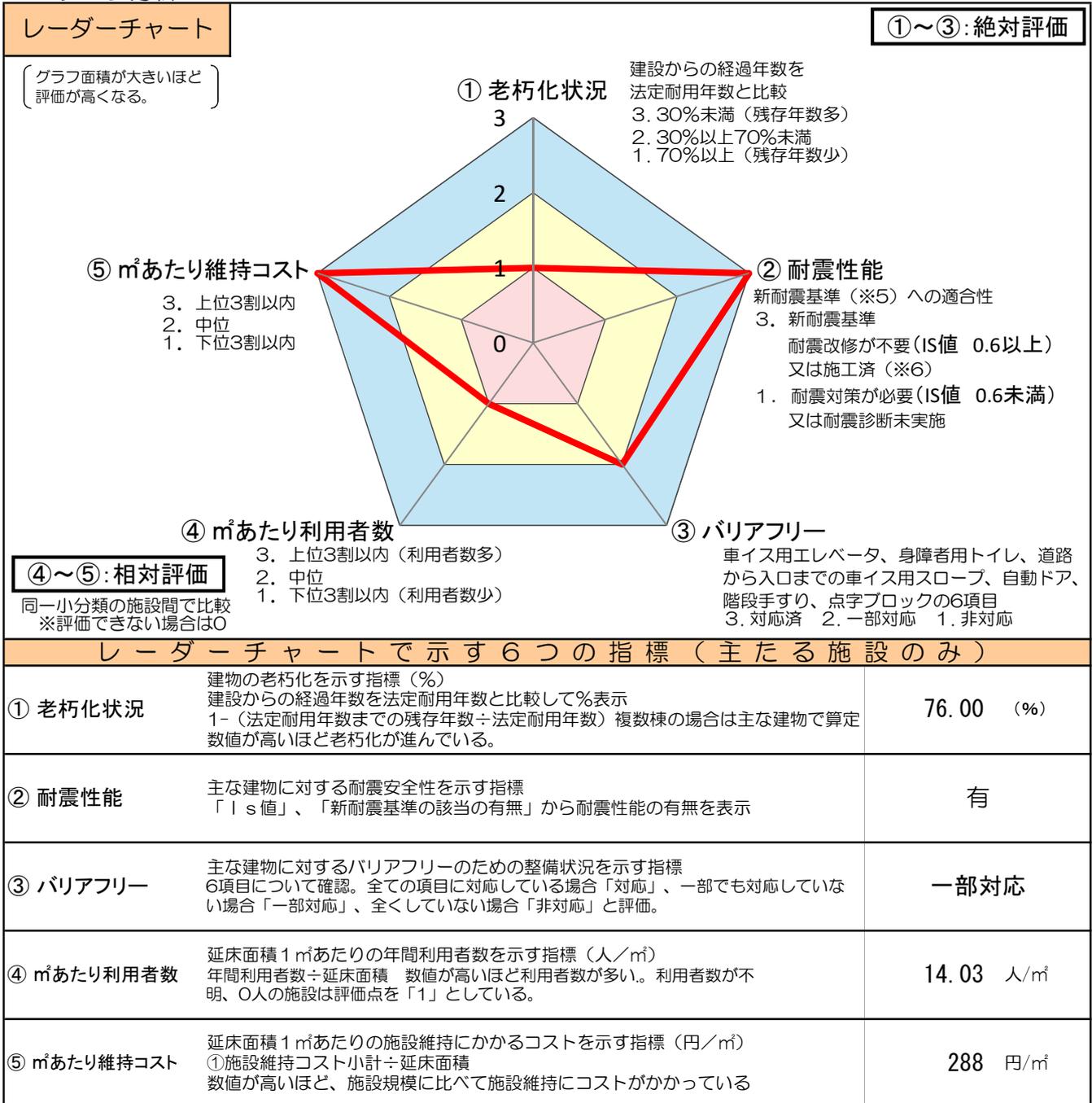
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
○	○	○	○	○

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	26,419 人	41,186 人	18,091 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト ② 施設運営コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
		修繕料		90,504	
		火災保険料		65,573	
		維持管理委託料		176,904	
		敷地借上料		-	
		工事請負費		-	
		その他維持費		38,772	
		小計		371,753	
		人件費 (賃金含)		-	
		燃料費		-	
		光熱水費	600,448		
		指定管理料	-		
		その他委託料	340,153		
		その他運営費	50,112		
		小計	990,713		
		合計 (①+②)	1,362,466		
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	75 円/人	8 円/人	1,057 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 \div 利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費 \div 延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費 \div 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3309
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	ふれあい広場
-----	--------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	吉良町岡山大岩山70番地 (吉良中学校地区)	敷地面積	22,444.00 m ²
		うち借上面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本棟				
複合・併設施設	-		建築年月	H13.3	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	10,368.32 m ²	総取得費	3,944,850 千円
階数	2階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	計算対象外	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

5 避難所指定

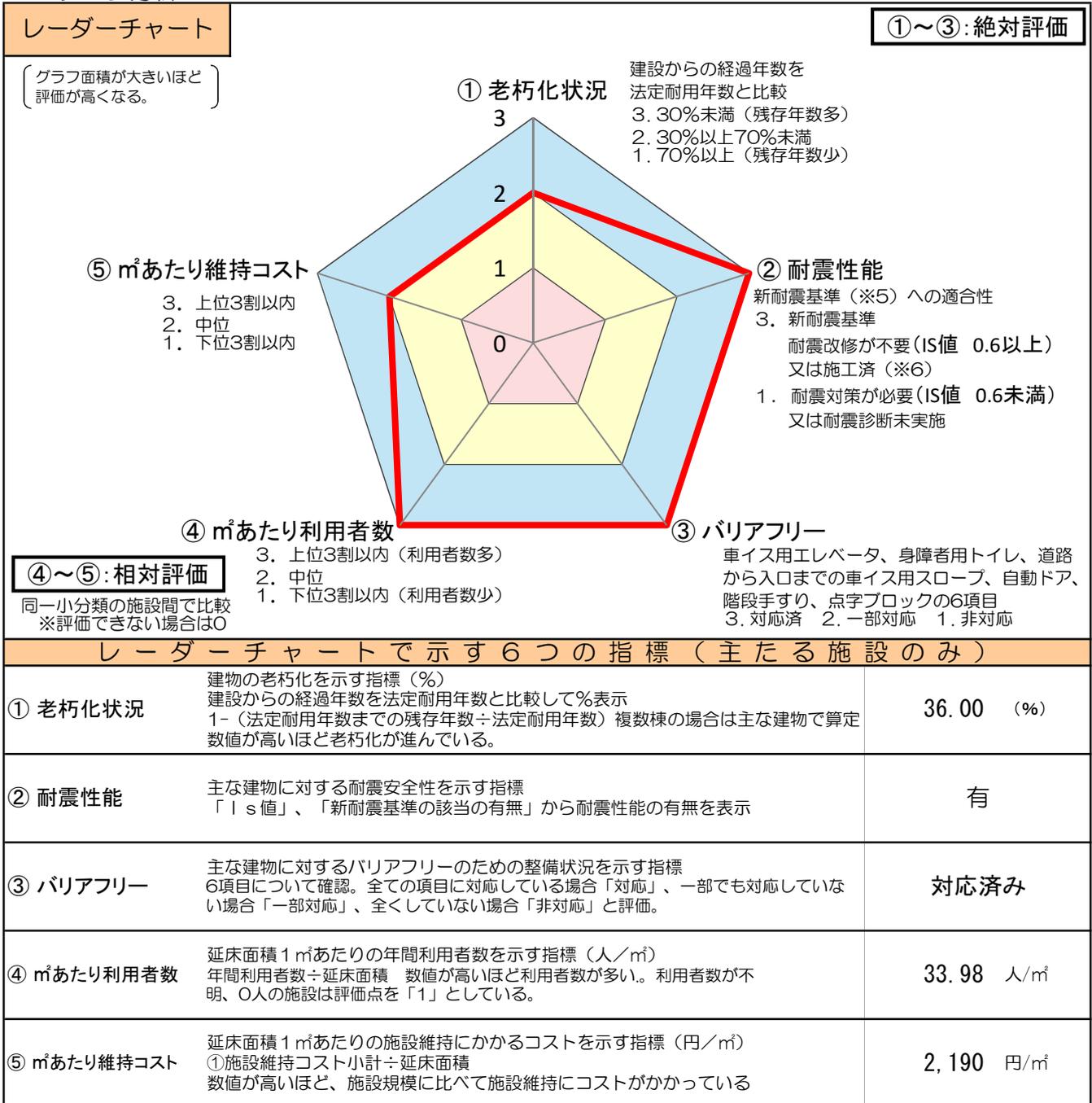
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	284,624 人	331,976 人	352,284 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	302 日	指定管理	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			維持管理・運営費	① 施設維持コスト	人件費 (賃金含)
修繕料				103,680	
火災保険料	806,885				
維持管理委託料	12,475,836				
敷地借上料	-				
工事請負費	9,320,400				
その他維持費	-				
小計	22,706,801				
② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-			
燃料費	-				
光熱水費	-				
指定管理料	114,008,000				
その他委託料	1,134,000				
その他運営費	17,199,064				
小計	132,341,064				
合計 (①+②)	155,047,865				
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり		
	440 円/人	899 円/人	14,954 円/m ²		

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号	3310
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	吉良弓道場
-----	-------

大分類	生涯学習施設	小分類	スポーツ・レクリエーション施設	所管部課	教育委員会事務局 スポーツ課
-----	--------	-----	-----------------	------	----------------

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	吉良町小牧郷前8番地 (吉良中学校地区)	敷地面積	1,703.00 m ²
		うち借上面積	780.00 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	弓道場				
複合・併設施設	-		建築年月	H11.2	
建物構造	鉄骨造	延床面積	251.75 m ²	総取得費	38,115 千円
階数	1階	うち借上面積	- m ²		

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

5 避難所指定

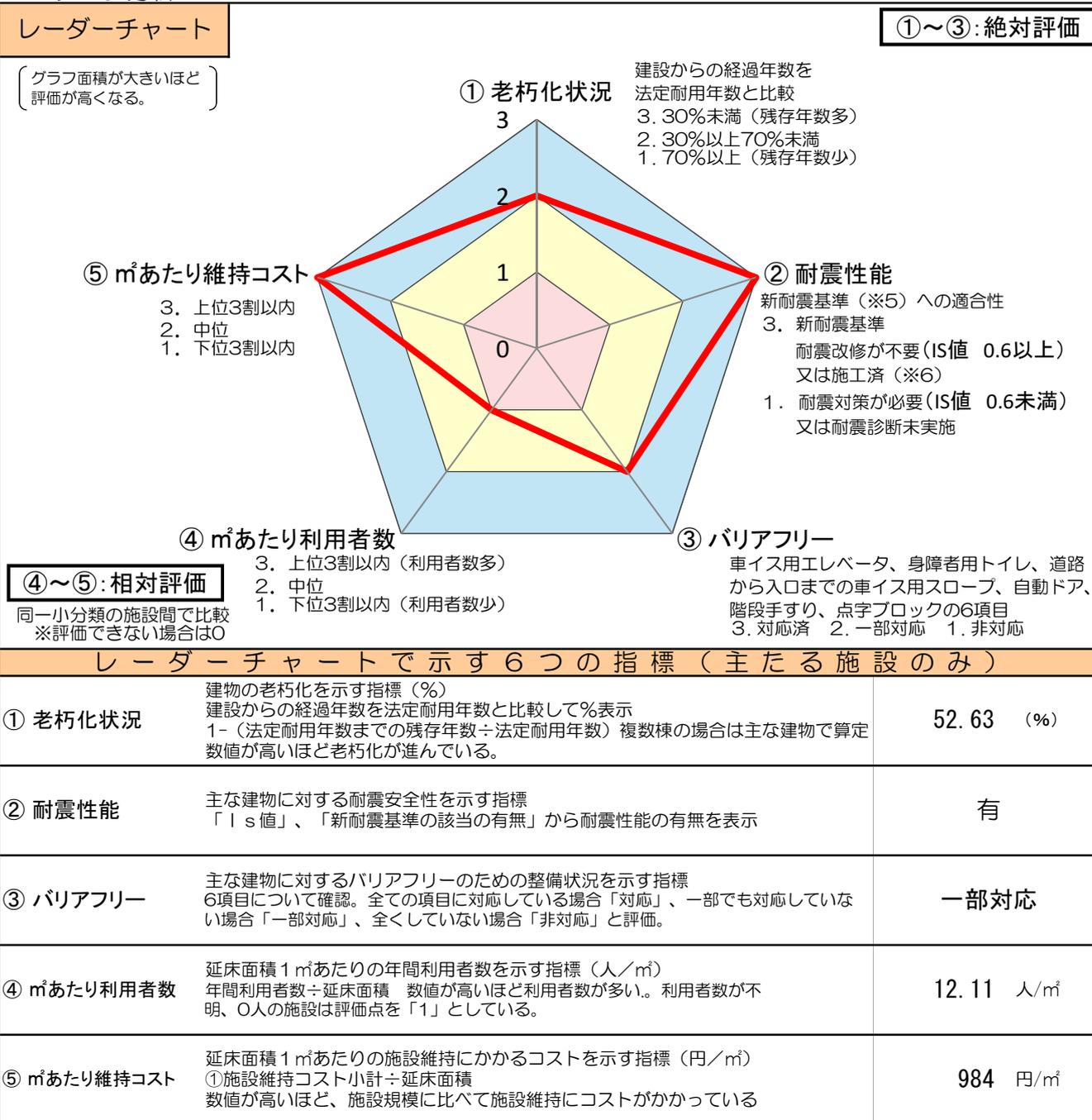
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	1,400 人	3,543 人	3,049 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す する経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す ために要する経 費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	-	
				火災保険料	9,228	
				維持管理委託料	-	
				敷地借上料	238,493	
				工事請負費	-	
				その他維持費	-	
				小計	247,721	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				-		
光熱水費	275,024					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	62,760					
小計	337,784					
合計 (①+②)	585,505					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m ² あたり			
	192 円/人	3 円/人	2,326 円/m ²			

7 データ分析


④～⑤:相対評価
 同一小分類の施設間で比較
 ※評価できない場合は0

レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
 「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

施設別データ

施設番号

3311

調査年度

平成30年度

施設名 **幡豆弓道場**

大分類 **生涯学習施設** 小分類 **スポーツ・レクリエーション施設** 所管部課 **教育委員会事務局 スポーツ課**

1 土地データ

所在地 (中学校地区)	寺部町林添82番地 (幡豆中学校地区)	敷地面積	861.00 m ²
		うち借上面積	861.10 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	弓道場		
複合・併設施設	-		
建築年月	H2.10		
建物構造	鉄骨造	延床面積	183.07 m ²
階数	1階	うち借上面積	- m ²

()内は地階

3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	計算対象外	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	○	-	-	

5 避難所指定

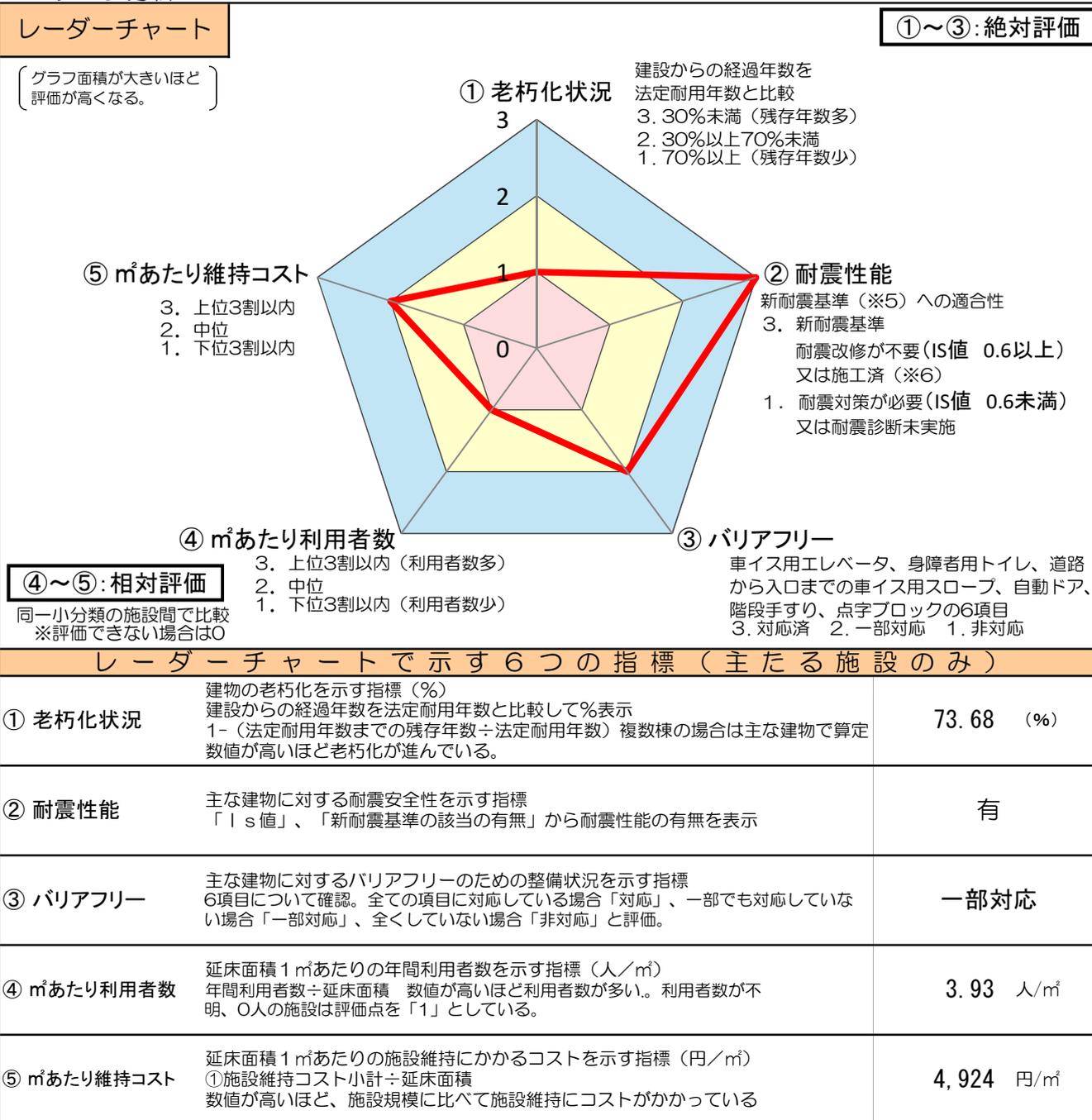
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	463 人	824 人	720 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	直営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト) ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す する経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す ために要する経 費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	256,608	
				火災保険料	6,682	
				維持管理委託料	10,000	
				敷地借上料	628,225	
				工事請負費	-	
				その他維持費	-	
				小計	901,515	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				-		
光熱水費	39,716					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	5,750					
小計	45,466					
合計 (①+②)	946,981					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1㎡あたり			
	1,315 円/人	5 円/人	5,173 円/㎡			

7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)
「延床面積1m²あたり」…維持管理・運営費÷延床面積
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。